

第2部 市町村の現状

第 1 章 地域別人口

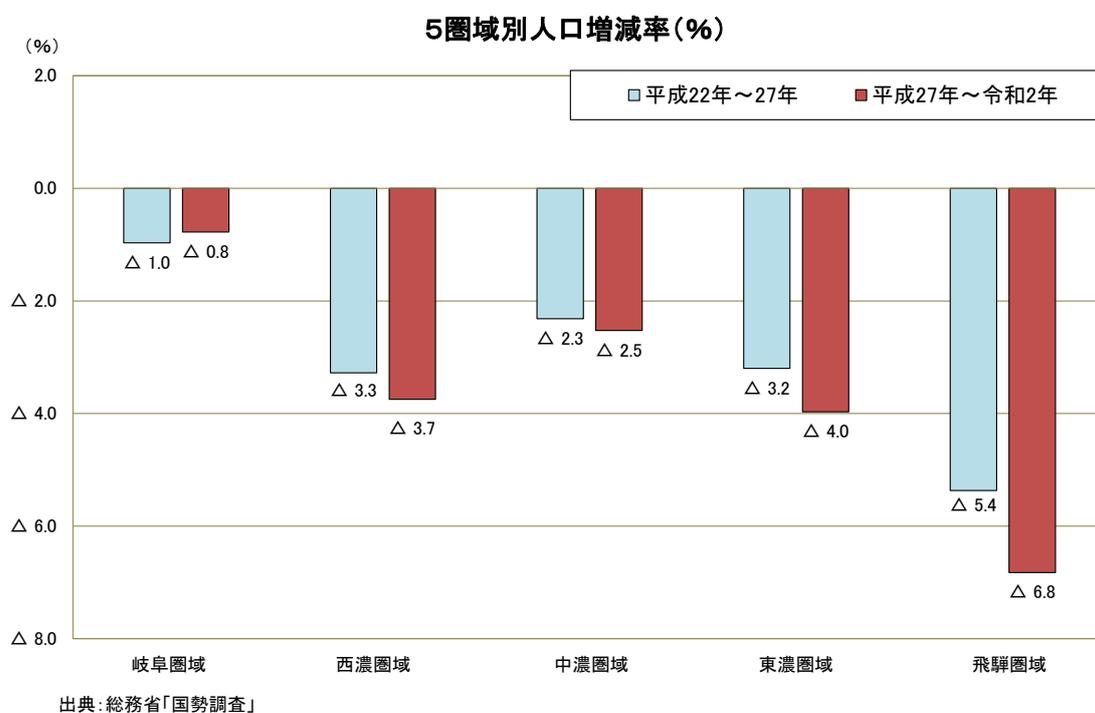
(1) 5圏域別人口

○すべての圏域で人口は減少

(減少幅はそれぞれ拡大した)

令和2年10月1日現在の岐阜県の人口を5圏域別にみると、岐阜圏域が79万3551人(県人口に占める割合40.1%)と最も多く、次いで中濃圏域が36万4282人(同18.4%)、西濃圏域が35万8439人(同18.1%)、東濃圏域は32万3574人(同16.4%)となり、人口が最も少ない飛騨圏域は13万8896人(同7.0%)となっている。

平成27年からの人口増減をみると、すべての圏域で人口は減少している。飛騨圏域は昭和55年から、東濃圏域は平成12年から、西濃圏域は平成17年から、中濃圏域は平成22年から、岐阜圏域は平成27年から人口が減少しており、平成27年に比べ、減少幅は岐阜圏域を除く圏域で拡大した。



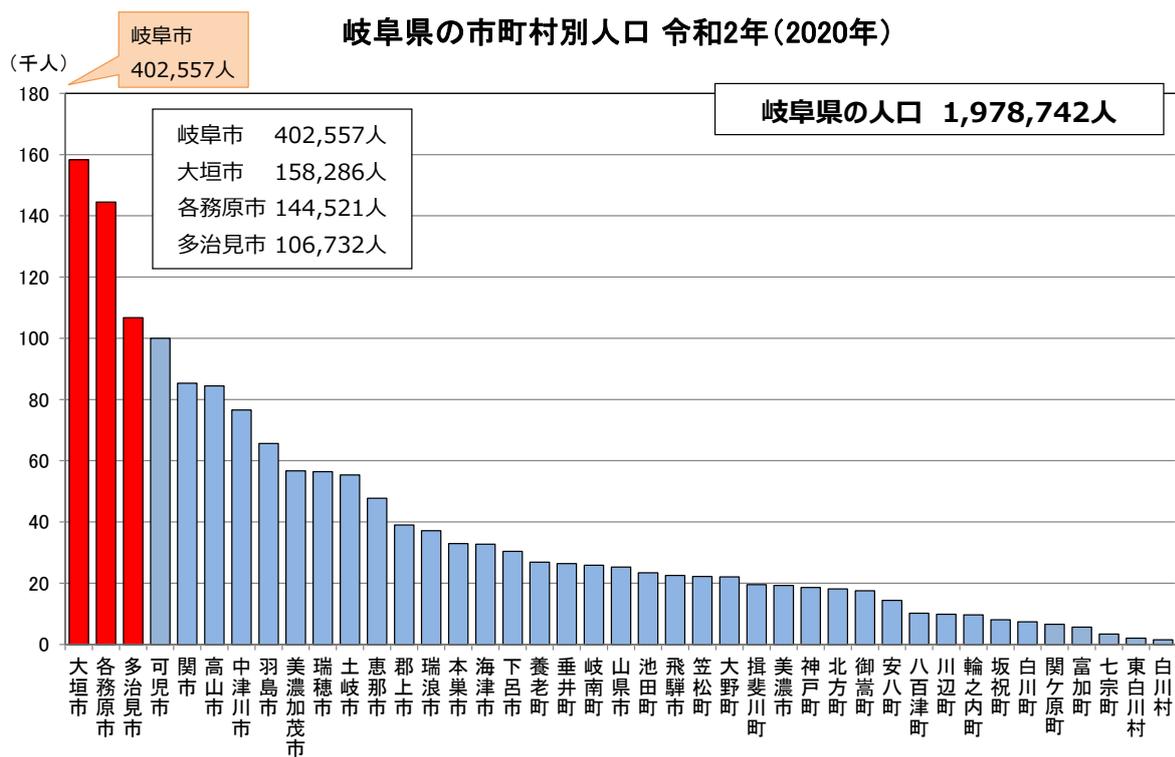
5圏域別人口の増減

	2010年 (平成22年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	平成22～27年の増減		平成27～令和2年の増減	
				増減数 (人)	増減率 (%)	増減数 (人)	増減率 (%)
県計	2,080,773	2,031,903	1,978,742	△ 48,870	△ 2.3	△ 53,161	△ 2.6
岐阜圏域	807,571	799,766	793,551	△ 7,805	△ 1.0	△ 6,215	△ 0.8
西濃圏域	385,021	372,399	358,439	△ 12,622	△ 3.3	△ 13,960	△ 3.7
中濃圏域	382,570	373,712	364,282	△ 8,858	△ 2.3	△ 9,430	△ 2.5
東濃圏域	348,085	336,954	323,574	△ 11,131	△ 3.2	△ 13,380	△ 4.0
飛騨圏域	157,526	149,072	138,896	△ 8,454	△ 5.4	△ 10,176	△ 6.8

(2) 市町村別人口

○10万人以上は4市、5万人以上10万人未満は8市、5万人未満は30市町村

令和2年10月1日現在の岐阜県の人口を市町村別にみると、岐阜市が40万2557人と最も多く、県人口の2割を占めている。そのほか、大垣市、各務原市、多治見市の3市が10万人を上回っており、岐阜市を含めたこの3市で県人口の4割を占めている。



出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

注:岐阜市は人口が大きいため、グラフから除いている。

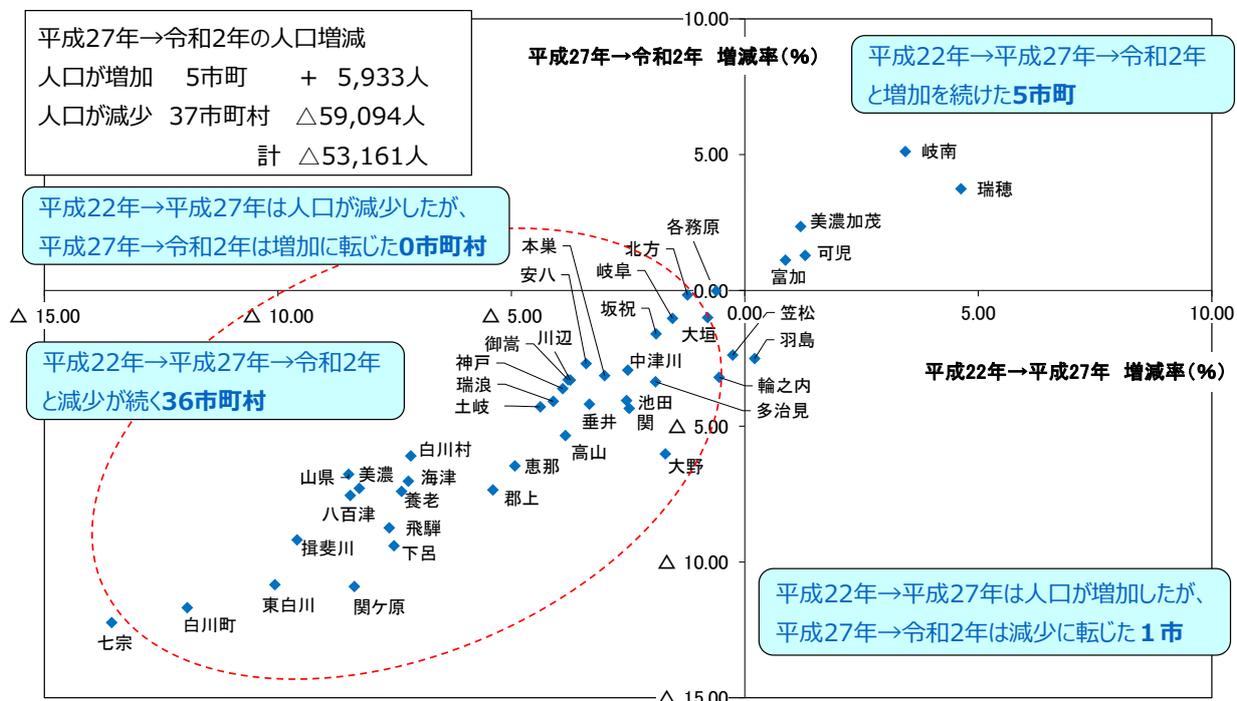
○平成 27 年以降で人口が増加したのは 5 市町（5993 人増加）

人口が減少したのは 37 市町村（5 万 9094 人減少）

平成 27 年からの 5 年間の人口増減をみると、人口が増加したのは瑞穂市が 2034 人、美濃加茂市が 1305 人、可児市 1273 人などの 5 市町となっている。一方、人口が減少したのは高山市が 4763 人減、岐阜市が 4178 人減、関市 3870 人減などの 37 市町村となっている。

平成 22 年からの推移をみると、36 市町村では減少が続いており、山間部を中心に人口減少が進んでいる。また、羽島市が今回減少に転じた。一方、5 市町では増加が続いており、岐阜市・大垣市の郊外や、愛知県に近い地域などでは人口が増えている。

県内市町村別人口の増減率(平成22年→令和2年)



市町村別人口-令和2年(2020年)- 人口増減 -平成27年(2015年)~令和2年(2020年)-

人口

順位	市町村	人口 (人)
1	岐阜市	402,557
2	大垣市	158,286
3	各務原市	144,521
4	多治見市	106,732
5	可児市	99,968
6	関市	85,283
7	高山市	84,419
8	中津川市	76,570
9	羽島市	65,649
10	美濃加茂市	56,689
11	瑞穂市	56,388
12	土岐市	55,348
13	恵那市	47,774
14	郡上市	38,997
15	瑞浪市	37,150
16	本巣市	32,928
17	海津市	32,735
18	下呂市	30,428
19	養老町	26,882
20	垂井町	26,402
21	岐南町	25,881
22	山県市	25,280
23	池田町	23,360
24	飛騨市	22,538
25	笠松町	22,208
26	大野町	22,041
27	揖斐川町	19,529
28	美濃市	19,247
29	神戸町	18,585
30	北方町	18,139
31	御嵩町	17,516
32	安八町	14,355
33	八百津町	10,195
34	川辺町	9,860
35	輪之内町	9,654
36	坂祝町	8,071
37	白川町	7,412
38	関ヶ原町	6,610
39	富加町	5,626
40	七宗町	3,402
41	東白川村	2,016
42	白川村	1,511

人口増加数

順位	市町村	人口増加数 (人)
1	瑞穂市	2,034
2	美濃加茂市	1,305
3	可児市	1,273
4	岐南町	1,259
5	富加町	62
6	北方町	△ 30
7	白川村	△ 98
8	坂祝町	△ 131
9	各務原市	△ 169
10	東白川村	△ 245
11	輪之内町	△ 319
12	川辺町	△ 337
13	安八町	△ 397
14	七宗町	△ 474
15	笠松町	△ 542
16	御嵩町	△ 595
17	神戸町	△ 697
18	関ヶ原町	△ 809
19	八百津町	△ 832
20	白川町	△ 980
21	池田町	△ 987
22	本巣市	△ 1,067
23	垂井町	△ 1,154
24	大野町	△ 1,412
25	美濃市	△ 1,513
26	瑞浪市	△ 1,580
27	大垣市	△ 1,593
28	羽島市	△ 1,688
29	山県市	△ 1,834
30	揖斐川町	△ 1,974
31	養老町	△ 2,147
32	飛騨市	△ 2,158
33	中津川市	△ 2,313
34	海津市	△ 2,471
35	土岐市	△ 2,479
36	郡上市	△ 3,093
37	下呂市	△ 3,157
38	恵那市	△ 3,299
39	多治見市	△ 3,709
40	関市	△ 3,870
41	岐阜市	△ 4,178
42	高山市	△ 4,763

人口増加率

順位	市町村	人口増加率 (%)
1	岐南町	5.1
2	瑞穂市	3.7
3	美濃加茂市	2.4
4	可児市	1.3
5	富加町	1.1
6	各務原市	△ 0.1
7	北方町	△ 0.2
8	大垣市	△ 1.0
9	岐阜市	△ 1.0
10	坂祝町	△ 1.6
11	笠松町	△ 2.4
12	羽島市	△ 2.5
13	安八町	△ 2.7
14	中津川市	△ 2.9
15	本巣市	△ 3.1
16	輪之内町	△ 3.2
17	御嵩町	△ 3.3
18	川辺町	△ 3.3
19	多治見市	△ 3.4
20	神戸町	△ 3.6
21	池田町	△ 4.1
22	瑞浪市	△ 4.1
23	垂井町	△ 4.2
24	土岐市	△ 4.3
25	関市	△ 4.3
26	高山市	△ 5.3
27	大野町	△ 6.0
28	白川村	△ 6.1
29	恵那市	△ 6.5
30	山県市	△ 6.8
31	海津市	△ 7.0
32	美濃市	△ 7.3
33	郡上市	△ 7.3
34	養老町	△ 7.4
35	八百津町	△ 7.5
36	飛騨市	△ 8.7
37	揖斐川町	△ 9.2
38	下呂市	△ 9.4
39	東白川村	△ 10.8
40	関ヶ原町	△ 10.9
41	白川町	△ 11.7
42	七宗町	△ 12.2

(3) 人口密度

○人口密度は県南部で高い。

市町村別に人口密度をみると、最も高いのは北方町で 3501.7 人/㎢、次いで岐南町 3271.9 人/㎢、笠松町 2156.1 人/㎢となっており、県の南部で高くなっている。

一方、人口密度が最も低いのは白川村 4.2 人/㎢、次いで東白川村 23.1 人/㎢、揖斐川町 24.3 人/㎢であり、山間部で人口密度が低くなっている。

平成 27 年と比べ岐南町、瑞穂市、可児市など人口密度が高い地域では人口が増加しているが、その他の市町村では減少しており、人口密度の市町村格差は拡大している。

市町村別人口密度

2020年 (令和2年) 順位	市町村名	人口		人口増減率(%)	人口密度(1㎢当たり)		人口密度の増減
		2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	平成27～令和2年 (2015年～2020年)	2015年 (平成27年)	2020年 (令和2年)	平成27～令和2年 (2015年～2020年)
1	北方町	18,169	18,139	△ 0.2	3,507.5	3,501.7	△ 5.8
2	岐南町	24,622	25,881	5.1	3,112.8	3,271.9	159.1
3	笠松町	22,750	22,208	△ 2.4	2,208.7	2,156.1	△ 52.6
4	瑞穂市	54,354	56,388	3.7	1,928.1	2,000.3	72.2
5	岐阜市	406,735	402,557	△ 1.0	1,997.7	1,977.2	△ 20.5
6	各務原市	144,690	144,521	△ 0.1	1,647.8	1,645.8	△ 2.0
7	羽島市	67,337	65,649	△ 2.5	1,254.9	1,223.4	△ 31.5
8	多治見市	110,441	106,732	△ 3.4	1,210.3	1,169.7	△ 40.6
9	可児市	98,695	99,968	1.3	1,127.0	1,141.6	14.6
10	神戸町	19,282	18,585	△ 3.6	1,026.7	989.6	△ 37.1
11	安八町	14,752	14,355	△ 2.7	812.3	790.5	△ 21.8
12	大垣市	159,879	158,286	△ 1.0	774.0	766.3	△ 7.7
13	美濃加茂市	55,384	56,689	2.4	740.3	757.8	17.5
14	大野町	23,453	22,041	△ 6.0	685.8	644.5	△ 41.3
15	坂祝町	8,202	8,071	△ 1.6	637.3	627.1	△ 10.2
16	池田町	24,347	23,360	△ 4.1	627.5	602.1	△ 25.4
17	土岐市	57,827	55,348	△ 4.3	498.4	477.1	△ 21.3
18	垂井町	27,556	26,402	△ 4.2	482.7	462.5	△ 20.2
19	輪之内町	9,973	9,654	△ 3.2	446.6	432.3	△ 14.3
20	養老町	29,029	26,882	△ 7.4	401.6	371.9	△ 29.7
21	富加町	5,564	5,626	1.1	330.8	334.5	3.7
22	御嵩町	18,111	17,516	△ 3.3	319.5	309.0	△ 10.5
23	海津市	35,206	32,735	△ 7.0	314.3	292.2	△ 22.1
24	川辺町	10,197	9,860	△ 3.3	247.7	239.6	△ 8.1
25	瑞浪市	38,730	37,150	△ 4.1	221.5	212.5	△ 9.0
26	関市	89,153	85,283	△ 4.3	188.8	180.6	△ 8.2
27	美濃市	20,760	19,247	△ 7.3	177.4	164.5	△ 12.9
28	関ヶ原町	7,419	6,610	△ 10.9	150.5	134.1	△ 16.4
29	山県市	27,114	25,280	△ 6.8	122.1	113.9	△ 8.2
30	中津川市	78,883	76,570	△ 2.9	116.6	113.2	△ 3.4
31	恵那市	51,073	47,774	△ 6.5	101.3	94.7	△ 6.6
32	本巣市	33,995	32,928	△ 3.1	90.7	87.9	△ 2.8
33	八百津町	11,027	10,195	△ 7.5	85.6	79.2	△ 6.4
34	高山市	89,182	84,419	△ 5.3	41.0	38.8	△ 2.2
35	郡上市	42,090	38,997	△ 7.3	40.8	37.8	△ 3.0
36	七宗町	3,876	3,402	△ 12.2	42.8	37.6	△ 5.2
37	下呂市	33,585	30,428	△ 9.4	39.5	35.7	△ 3.8
38	白川町	8,392	7,412	△ 11.7	35.3	31.2	△ 4.1
39	飛騨市	24,696	22,538	△ 8.7	31.2	28.4	△ 2.8
40	揖斐川町	21,503	19,529	△ 9.2	26.8	24.3	△ 2.5
41	東白川村	2,261	2,016	△ 10.8	26.0	23.1	△ 2.9
42	白川村	1,609	1,511	△ 6.1	4.5	4.2	△ 0.3
岐阜県		2,031,903	1,978,742	△ 2.62	195.9	186.3	△ 9.6

(4) 人口集中地区 (D I D)

○県人口の約4割が、県土の2%に満たないD I Dに集中している。

人口集中地区は、市部・郡部別地域表章が、町村合併や新市の創設等に伴い、必ずしも都市的地域と農村的地域の特質を示さなくなったという事情により、市町村という行政地域の境域とは別に、実質的な都市地域を示すものとして画定された。総務省統計局が、昭和35年以降国勢調査ごとに設定している。

令和2年には、県下の20市町において34地区の人口集中地区が設定されており、地区数は、平成2年の43地区をピークに減少している。

人口集中地区における人口は80万6499人（総人口に占める割合40.8%）、面積は190.9km²（総面積の1.8%）となっており、県人口の約41%が県土の2%に満たない地域に集中している。

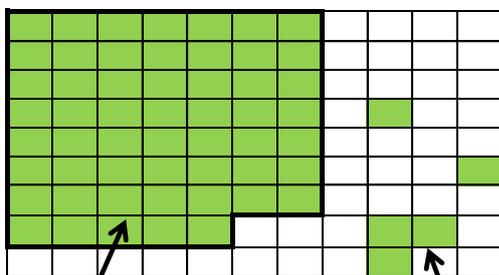
人口集中地区の人口及び人口集中地区以外の地域の人口 令和2年(2020年)

	人口(人)	面積(km ²)	人口密度(1km ² 当たり)	人口総数に占める割合(%)	総面積に占める割合(%)
岐阜県	1,978,742	10,621.3	186.3	100.0	100.0
人口集中地区(DID)	806,499	190.9	4,224.5	40.8	1.8
人口集中地区以外の地域	1,172,243	10,430.4	112.4	59.2	98.2

<人口集中地区とは>

「人口集中地区」とは、市区町村の境域内において、人口密度の高い基本単位区（原則として人口密度が1平方キロメートル当たり4,000人以上）が隣接し、かつ、その隣接した基本単位区内の人口が5,000人以上となる地域

基本単位区
 基本単位区のうち、人口密度が4,000人/km²以上のもの



隣接した地域の人口が5,000人以上となる地域を、「人口集中地区」という。

人口密度の基準は満たしても、隣接した地域の人口が5,000人未満の場合、人口集中地区とはならない。

○人口集中地区では人口が増加し、人口集中地区以外の地域は人口が減少

平成 27 年からの人口増減をみると、人口集中地区では、3 万 136 人増加している。一方、人口集中地区以外の地域の人口は、平成 7 年以降増加し続けていたが平成 22 年に減少に転じ、令和 2 年は平成 27 年に比べ 8 万 3297 人減少した。

地区別にみると、人口集中地区の人口が増加し、人口集中地区以外の地域で人口が減少しているのは、岐阜市、大垣市、瑞浪市などの 10 市町である。一方で、人口集中地区、人口集中地区以外の地域でともに人口が減少しているのは、高山市、関市、中津川市などの 8 市町である。人口集中地区の人口は減少しているものの、人口集中地区以外の地域で人口が増加しているのは、多治見市である。また、美濃加茂市では、人口集中地区及び人口集中地区以外の地域でともに人口が増加している。

人口集中地区の人口及び人口集中地区以外の地域の人口

市町村	人口集中地区数		人口集中地区(DID)					人口集中地区以外の地域			
			人口(人)		人口増減率(%)	人口密度(1km ² 当たり)	人口総数に占める割合(%)	人口(人)		人口増減率(%)	人口密度(1km ² 当たり)
	2015年(平成27年)	2020年(令和2年)	2015年(平成27年)	2020年(令和2年)				平成27年→令和2年	2020年(令和2年)		
岐阜県	31	34	776,363	806,499	3.9	4,224.5	39.7	1,255,540	1,172,243	△ 6.6	120.2
岐阜市	5	6	286,484	304,103	6.2	4,856.3	74.8	120,251	98,454	△ 18.1	809.1
大垣市	1	1	93,199	95,817	2.8	4,158.7	59.9	66,680	62,469	△ 6.3	360.2
高山市	1	1	37,269	34,502	△ 7.4	4,107.4	38.7	51,913	49,917	△ 3.8	23.9
多治見市	3	3	59,813	53,785	△ 10.1	4,282.2	48.7	50,628	52,947	4.6	654.6
関市	1	1	25,486	25,199	△ 1.1	3,962.1	28.3	63,667	60,084	△ 5.6	136.4
中津川市	1	1	7,353	7,046	△ 4.2	2,774.0	8.9	71,530	69,524	△ 2.8	106.1
瑞浪市	1	1	7,473	13,116	75.5	3,779.8	33.9	31,257	24,034	△ 23.1	180.8
羽島市	1	1	23,571	24,774	5.1	3,840.9	36.8	43,766	40,875	△ 6.6	906.9
恵那市	1	1	5,707	5,656	△ 0.9	2,856.6	11.1	45,366	42,118	△ 7.2	90.3
美濃加茂市	1	1	9,949	11,211	12.7	3,259.0	20.2	45,435	45,478	0.1	630.5
土岐市	2	2	24,979	23,040	△ 7.8	3,263.5	39.8	32,848	32,308	△ 1.6	302.6
各務原市	3	3	84,998	87,517	3.0	4,061.1	60.5	59,692	57,004	△ 4.5	885.5
可児市	3	3	30,777	33,761	9.7	4,157.8	34.2	67,918	66,207	△ 2.5	847.1
瑞穂市	1	1	18,654	21,483	15.2	4,023.0	39.5	35,700	34,905	△ 2.2	1,491.9
飛騨市	1	1	5,400	5,015	△ 7.1	3,660.6	20.3	19,296	17,523	△ 9.2	24.4
岐南町	1	1	11,960	14,934	24.9	3,982.4	60.7	12,662	10,947	△ 13.5	2,463.4
笠松町	1	2	10,996	13,073	18.9	4,034.9	57.5	11,754	9,135	△ 22.3	1,522.5
垂井町	1	2	13,223	13,027	△ 1.5	3,065.2	47.3	14,333	13,375	△ 6.7	271.7
神戸町	1	1	6,380	6,346	△ 0.5	2,569.2	32.9	12,902	12,239	△ 5.1	816.1
北方町	1	1	12,692	13,094	3.2	4,499.7	72.1	5,477	5,045	△ 7.9	2,190.8

第2章 地域別にみた年齢別人口

(1) 市町村別年齢3区分人口

〇〇～14歳の人口は、4市町で増加、38市町村で減少

〇15～64歳の人口は、3市町で増加、39市町村で減少

〇65歳以上の人口は、34市町で増加、8市町村で減少

市町村別の年齢3区分別人口を平成27年と比べると、0～14歳人口が増加したのは岐南町、富加町、美濃加茂市など4市町で、38市町村で減少した。15～64歳人口は、瑞穂市、岐南町、美濃加茂市で増加したが、39市町村で減少した。65歳以上人口は、34市町で増加したが、下呂市、白川町、飛騨市など8市町村で減少した。

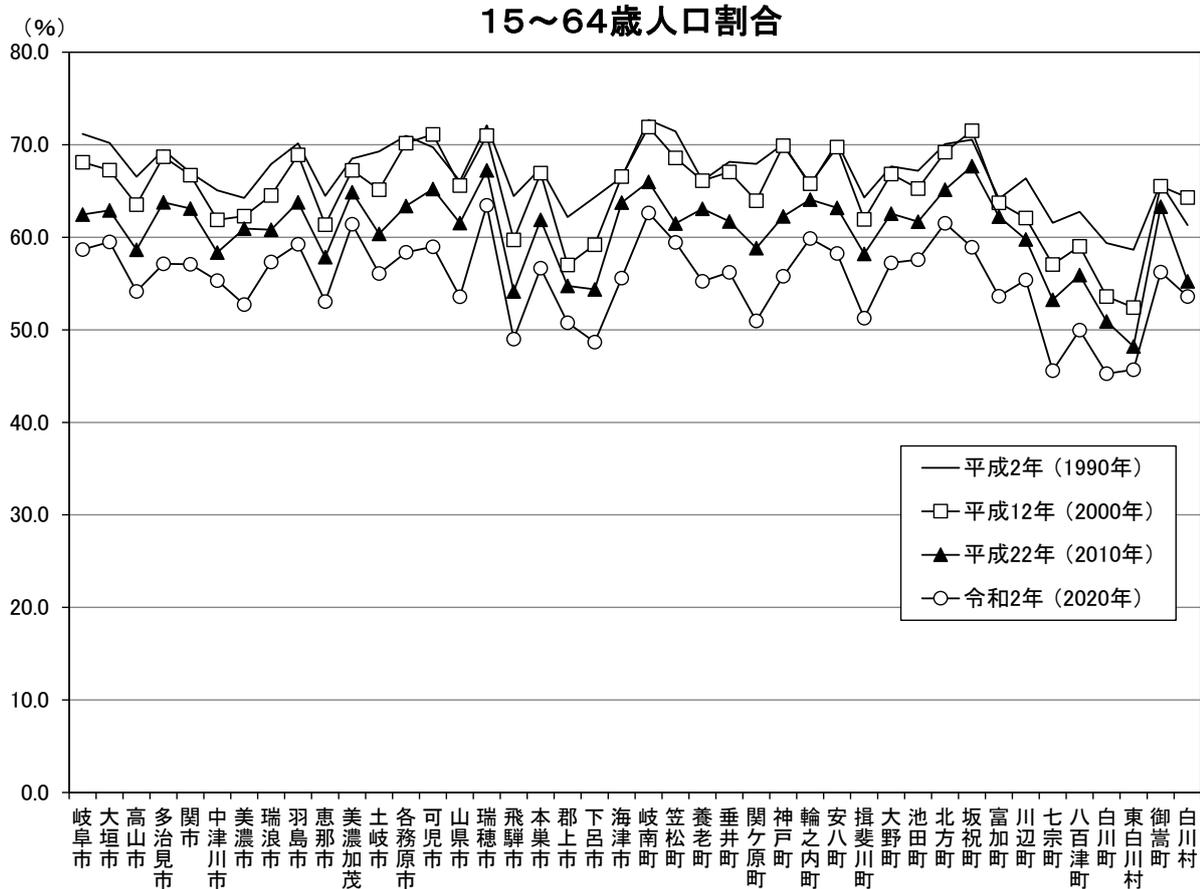
0～14歳人口			15～64歳人口			65歳以上人口			
増加数	順位	市町村名	人口増加数 (人)	順位	市町村名	人口増加数 (人)	順位	市町村名	人口増加数 (人)
	1	岐南町	71	1	瑞穂市	804	1	岐阜市	6,994
	2	富加町	54	2	岐南町	629	2	各務原市	3,108
	3	美濃加茂市	31	3	美濃加茂市	398	3	可児市	2,985
	4	坂祝町	7	4			4	多治見市	2,626
5			5			5	大垣市	2,096	
増加率	順位	市町村名	人口増加率 (%)	順位	市町村名	人口増加率 (%)	順位	市町村名	人口増加率 (%)
	1	富加町	7.3	1	岐南町	4.0	1	瑞穂市	13.1
	2	岐南町	1.9	2	瑞穂市	2.3	2	坂祝町	12.1
	3	坂祝町	0.7	3	美濃加茂市	1.2	3	可児市	11.9
	4	美濃加茂市	0.4	4			4	富加町	11.7
5			5			5	輪之内町	11.7	
減少数	順位	市町村名	人口減少数 (人)	順位	市町村名	人口減少数 (人)	順位	市町村名	人口減少数 (人)
	1	岐阜市	△ 4,186	1	岐阜市	△ 6,986	1	下呂市	△ 211
	2	関市	△ 1,544	2	多治見市	△ 4,918	2	白川町	△ 135
	3	高山市	△ 1,420	3	関市	△ 4,060	3	飛騨市	△ 133
	4	各務原市	△ 1,418	4	高山市	△ 3,934	4	七宗町	△ 52
5	多治見市	△ 1,417	5	恵那市	△ 2,734	5	東白川村	△ 43	
減少率	順位	市町村名	人口減少率 (%)	順位	市町村名	人口減少率 (%)	順位	市町村名	人口減少率 (%)
	1	白川町	△ 24.9	1	七宗町	△ 19.0	1	東白川村	△ 4.5
	2	東白川村	△ 24.2	2	白川町	△ 16.3	2	白川町	△ 3.7
	3	養老町	△ 21.4	3	関ヶ原町	△ 15.5	3	七宗町	△ 3.2
	4	関ヶ原町	△ 21.2	4	美濃市	△ 14.0	4	白川村	△ 2.2
5	海津市	△ 19.4	5	下呂市	△ 13.8	5	下呂市	△ 1.7	

注)不詳補完値による。

○15～64 歳人口の割合は、すべての市町村で低下

15～64 歳人口の割合は、瑞穂市が 63.5%と最も高く、次いで岐南町 62.6%、北方町 61.5%であり、最も低いのは、白川町 45.3%、次いで七宗町 45.6%、東白川村の 45.7%となっている。

平成 2 年からの推移をみると、平成 12 年までは上昇する市町村もみられたが、以降はすべての市町村で低下している。



出典：総務省「国勢調査」※令和2年(2020年)は不詳補完値による。

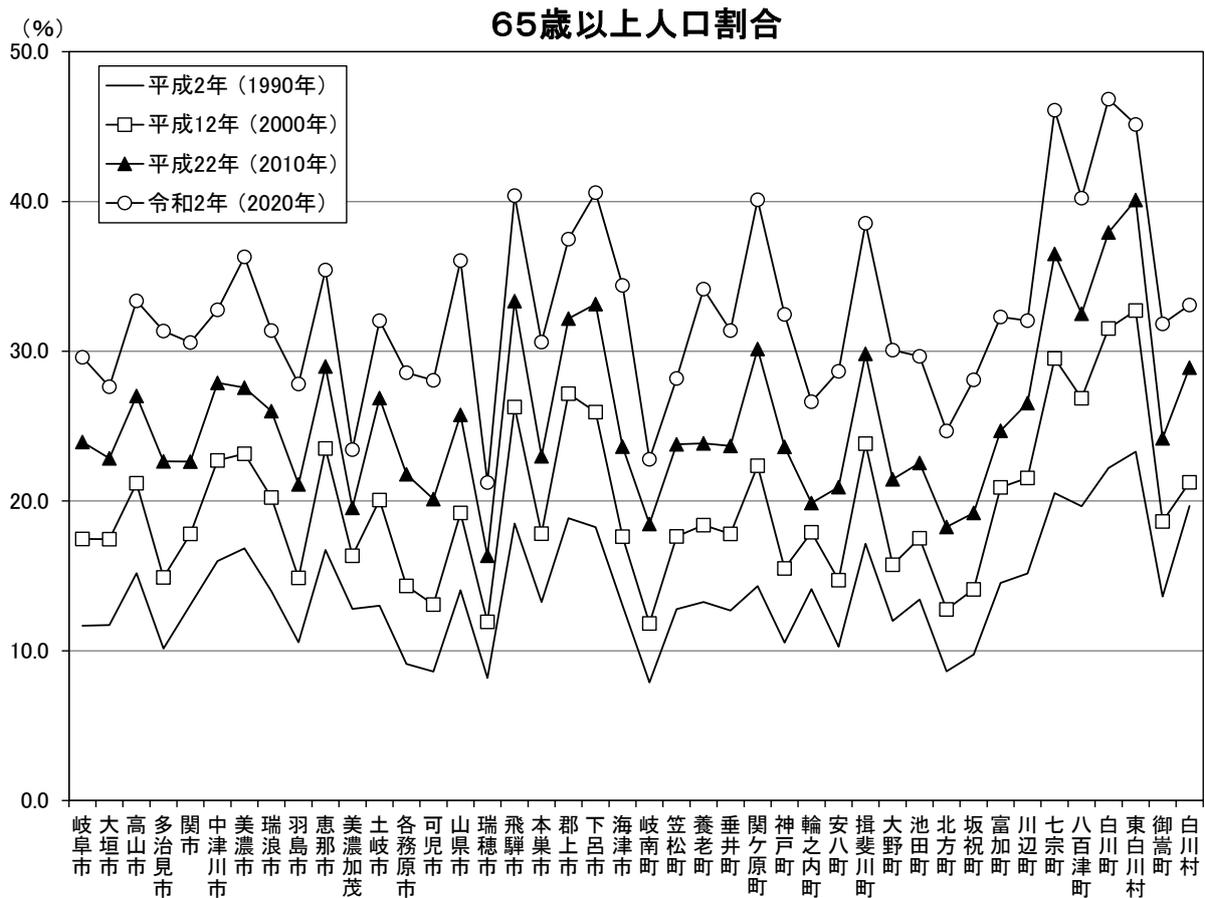
15～64歳人口の割合 令和2年(2020年)

低い順			高い順		
		%			%
1	白川町	45.3	1	瑞穂市	63.5
2	七宗町	45.6	2	岐南町	62.6
3	東白川村	45.7	3	北方町	61.5
4	下呂市	48.7	4	美濃加茂市	61.4
5	飛騨市	49.0	5	輪之内町	59.9
6	八百津町	50.0	6	大垣市	59.5
7	郡上市	50.8	7	笠松町	59.5
8	関ヶ原町	51.0	8	羽島市	59.2
9	揖斐川町	51.3	9	可児市	59.0
10	美濃市	52.7	10	坂祝町	58.9

○すべての市町村で 65 歳以上人口の割合が上昇

65歳以上人口の割合は、白川町が46.8%と最も高く、次いで七宗町46.1%、東白川村45.1%であり、最も低いのは、瑞穂市の21.2%、次いで岐南町22.8%、美濃加茂市23.4%である。

高齢化率が30%を超えているのは28市町村で、山間部を中心に一段と高齢化が進んでいる。また、最も高齢化率が低い瑞穂市でも、平成2年の8.2%と比べると、高齢者の割合は2.6倍に上昇しており、山間部以外の地域でも高齢化は進行している。



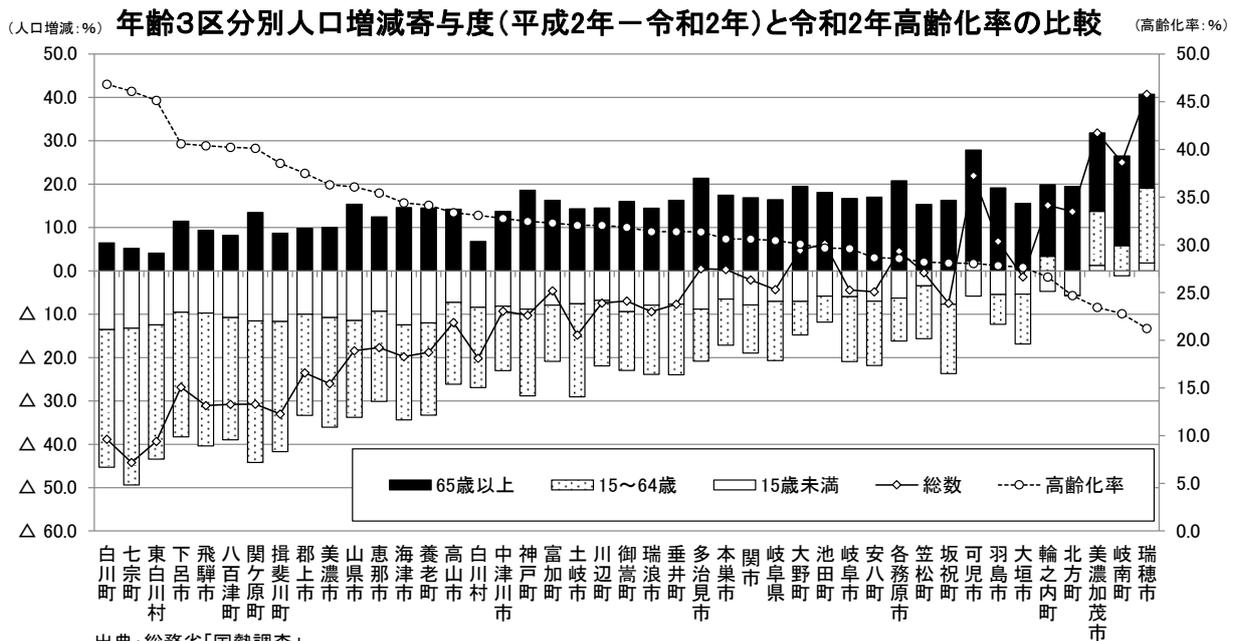
出典：総務省「国勢調査」※令和2年(2020年)は不詳補完値による。

65歳以上人口の割合 令和2年(2020年)

低い順		%	高い順		%
1	瑞穂市	21.2	1	白川町	46.8
2	岐南町	22.8	2	七宗町	46.1
3	美濃加茂市	23.4	3	東白川村	45.1
4	北方町	24.7	4	下呂市	40.6
5	輪之内町	26.6	5	飛騨市	40.4
6	大垣市	27.6	6	八百津町	40.2
7	羽島市	27.8	7	関ヶ原町	40.1
8	可児市	28.1	8	揖斐川町	38.5
9	坂祝町	28.1	9	郡上市	37.5
10	笠松町	28.2	10	美濃市	36.3

○人口減少と高齢化

平成2年から令和2年の30年間の市町村人口の変化をみるために、年齢3区分別の人口増減寄与度を算出した。30年間で人口が減少した市町村は30市町村、増加した市町村は12市町村であるが、増減にかかわらず、65歳以上人口はすべての市町村で増加に寄与している。人口が減少した市町村は、15～64歳人口のマイナス寄与が大きい傾向があり、65歳以上人口の割合である高齢化率が高い傾向がある。



出典:総務省「国勢調査」

注1)平成2年と令和2年の人口の年齢3区分別増減寄与度を算出し、令和2年の高齢化率が高い順に並べた。

注2)令和2年は不詳補完値による。

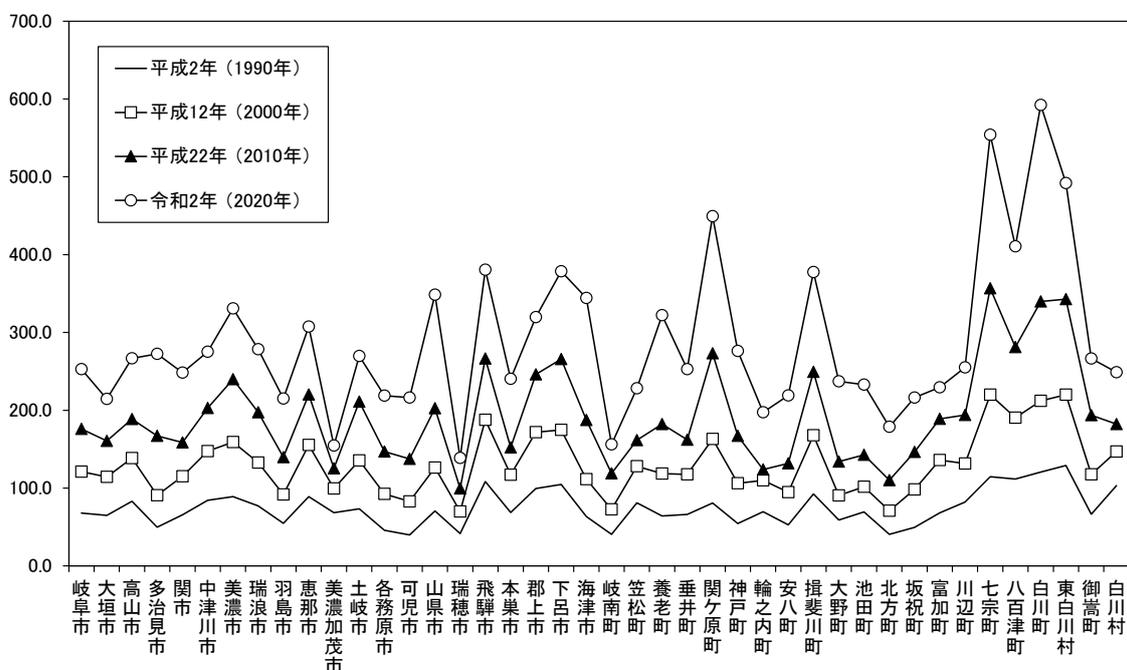
(2) 市町村別の人口指数

○老年化指数は、すべての市町村で上昇

老年化指数（0～14歳人口100人に対する65歳以上人口の比：65歳以上人口／0～14歳人口×100）をみると、0～14歳の子ども100人に対する65歳以上の高齢者の数は、白川町が592.3と最も高く、次いで七宗町554.1、東白川村491.9となっており、最も低いのは、瑞穂市の138.8、次いで美濃加茂市154.7、岐南町156.2となっている。

老年化指数の推移をみると、平成2年から令和2年の間に、すべての市町村で上昇している。平成2年には、多くの市町村で100を下回っていた（0～14歳人口＞65歳以上人口）が、令和2年現在、すべての市町村で100を上回っている（0～14歳人口＜65歳以上人口）。

老年化指数



出典：総務省「国勢調査」 ※2020年(令和2年)は不詳補完値による。

老年化指数 令和2年(2020年)

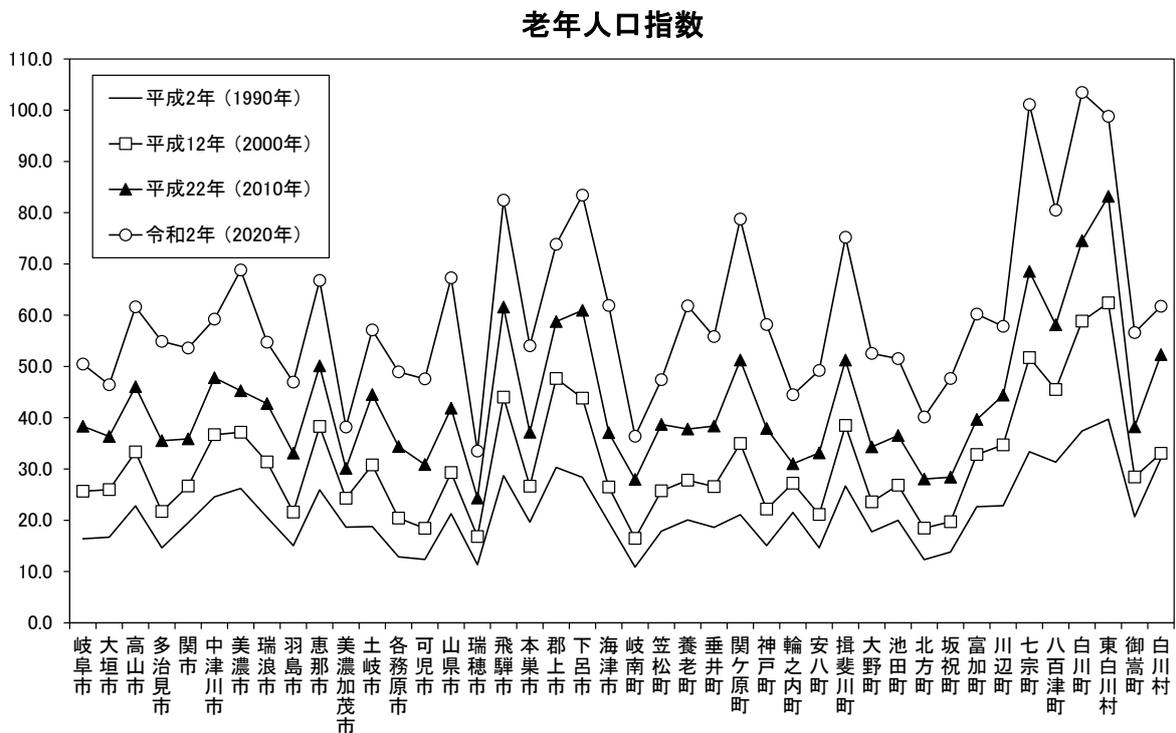
高い順			低い順		
1	白川町	592.3	1	瑞穂市	138.8
2	七宗町	554.1	2	美濃加茂市	154.7
3	東白川村	491.9	3	岐南町	156.2
4	関ヶ原町	449.5	4	北方町	178.8
5	八百津町	410.5	5	輪之内町	197.5
6	飛騨市	380.4	6	大垣市	214.5
7	下呂市	378.5	7	羽島市	215.0
8	揖斐川町	377.7	8	可児市	216.2
9	山県市	348.5	9	坂祝町	216.3
10	海津市	344.2	10	各務原市	218.9

○老年人口指数は、すべての市町村で上昇

老年人口指数（15～64歳人口100人に対する65歳以上人口の比：65歳以上人口／15～64歳人口×100）をみると、15～64歳の現役世代100人に対する65歳以上の高齢者の数は、白川町が103.5と最も高く、次いで七宗町101.1、東白川村98.8となっており、最も低いのは、瑞穂市の33.5、次いで岐南町36.4、美濃加茂市38.2となっている。

また、高齢者1人を支える現役世代の数が2人に満たない状況を示す、老年人口指数が50.0を上回っているのは30市町村である。

老年人口指数の推移をみると、平成2年から令和2年の間に、すべての市町村で上昇しており、現在はすべての市町村で30.0を上回っている。



出典：総務省「国勢調査」 ※2020年(令和2年)は不詳補完値による。

老年人口指数 令和2年(2020年)

高い順		低い順		
1	白川町	103.5	1 瑞穂市	33.5
2	七宗町	101.1	2 岐南町	36.4
3	東白川村	98.8	3 美濃加茂市	38.2
4	下呂市	83.4	4 北方町	40.1
5	飛騨市	82.5	5 輪之内町	44.5
6	八百津町	80.5	6 大垣市	46.5
7	関ヶ原町	78.7	7 羽島市	47.0
8	揖斐川町	75.2	8 笠松町	47.4
9	郡上市	73.8	9 可児市	47.6
10	美濃市	68.8	10 坂祝町	47.7

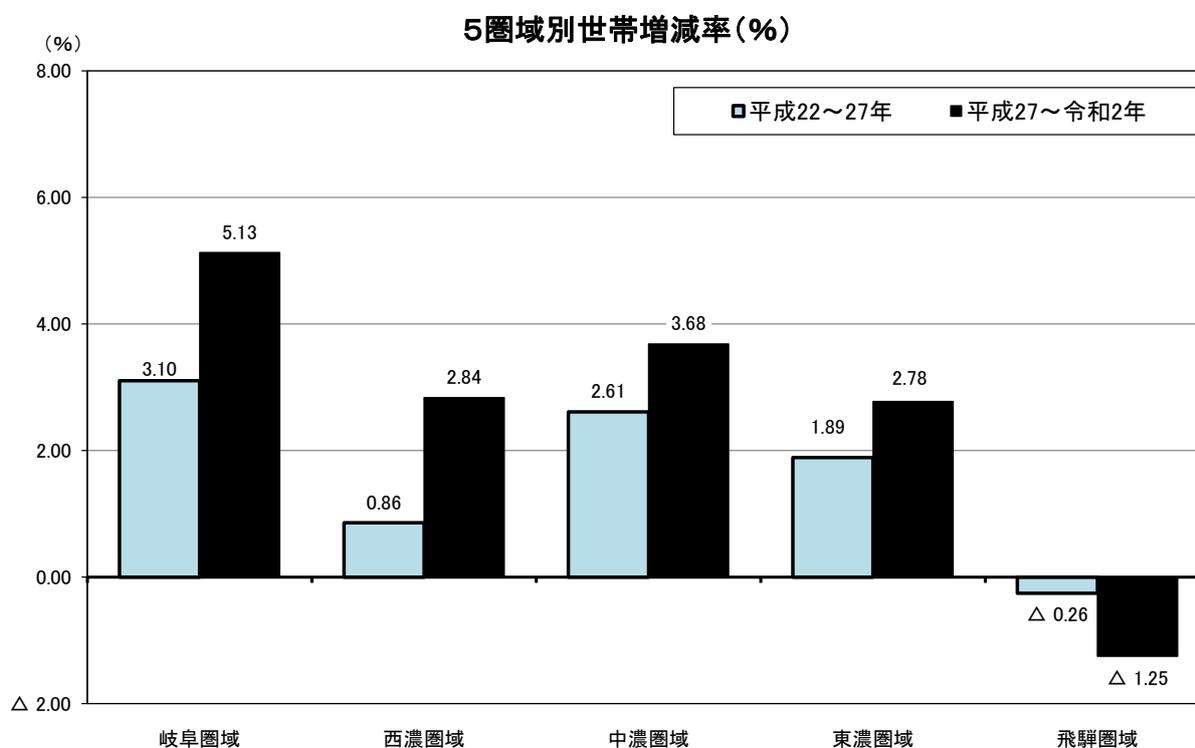
第3章 地域別世帯の状況

(1) 5圏域別の一般世帯数

○一般世帯数は飛騨圏域で減少、4圏域で増加

令和2年10月1日現在の岐阜県の一般世帯数を5圏域別にみると、岐阜圏域が32万5087世帯（県の一般世帯に占める割合41.7%）と最も多く、次いで中濃圏域が14万1479世帯（同18.2%）、西濃圏域13万3364世帯（同17.1%）、東濃圏域12万6063世帯（同16.2%）となり、世帯が最も少ない飛騨圏域は5万3036人（同6.8%）となっている。

平成27年からの世帯増減をみると、岐阜圏域で1万5861世帯増、西濃圏域で3682世帯増、中濃圏域で5027世帯増、東濃圏域で3406世帯増となっているものの、飛騨圏域は673世帯減となった。



出典：総務省「国勢調査」

5圏域別世帯の増減

	2010年 (平成22年) (世帯)	2015年 (平成27年) (世帯)	2020年 (令和2年) (世帯)	平成22～27年の増減		平成27～令和2年の増減	
				増減数 (世帯)	増減率 (%)	増減数 (世帯)	増減率 (%)
県計	735,702	751,726	779,029	16,024	2.18	27,303	3.63
岐阜圏域	299,917	309,226	325,087	9,309	3.10	15,861	5.13
西濃圏域	128,577	129,682	133,364	1,105	0.86	3,682	2.84
中濃圏域	132,979	136,452	141,479	3,473	2.61	5,027	3.68
東濃圏域	120,382	122,657	126,063	2,275	1.89	3,406	2.78
飛騨圏域	53,847	53,709	53,036	△ 138	△ 0.26	△ 673	△ 1.25

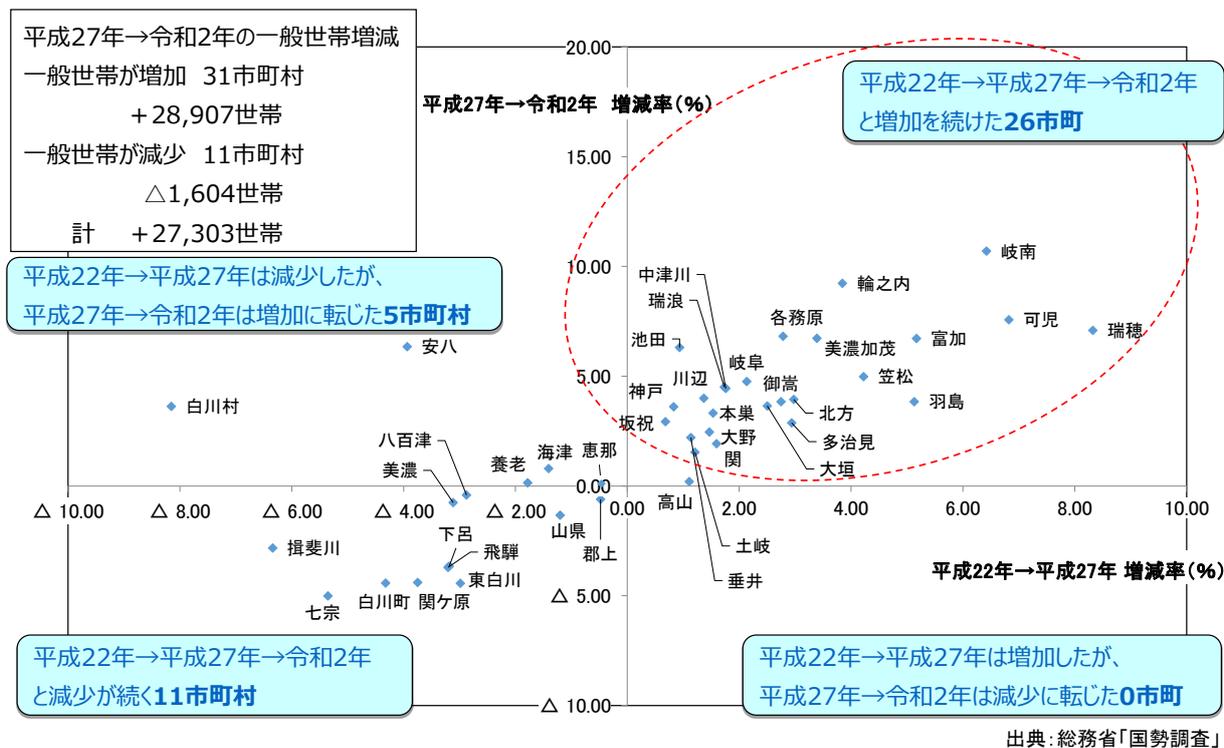
(2) 市町村別にみた5年間の世帯増減

○平成27年以降の5年間で世帯が増加したのは31市町（2万8907世帯増加）
世帯が減少したのは11市町村（1604世帯減少）

令和2年10月1日現在の一般世帯数を市町村別にみると、平成27年から増加したのは31市町で、平成22年から平成27年の26市町より増加した。一方、平成27年と比べ減少したのは11市町村で、前回の16市町村より減少した。

平成22年から令和2年の増減をみると、平成22年から令和2年まで増加を続けているのは26市町であり、人口が減少する一方で世帯は増加している地域が多い。また、令和2年に減少に転じた市町村はなかった。平成22年から減少が続いているのは11市町村となっており、人口減少の進行が早い地域では世帯数も減少している。

県内市町村別総世帯数の増減率(平成22年→令和2年)



一般世帯数の増加が大きい市町村 令和2年(2020年)

順位	増加数		増加率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	7,859	岐南町	10.7
2	各務原市	3,641	輪之内町	9.2
3	可児市	2,811	可児市	7.6
4	大垣市	2,189	瑞穂市	7.1
5	瑞穂市	1,487	各務原市	6.8

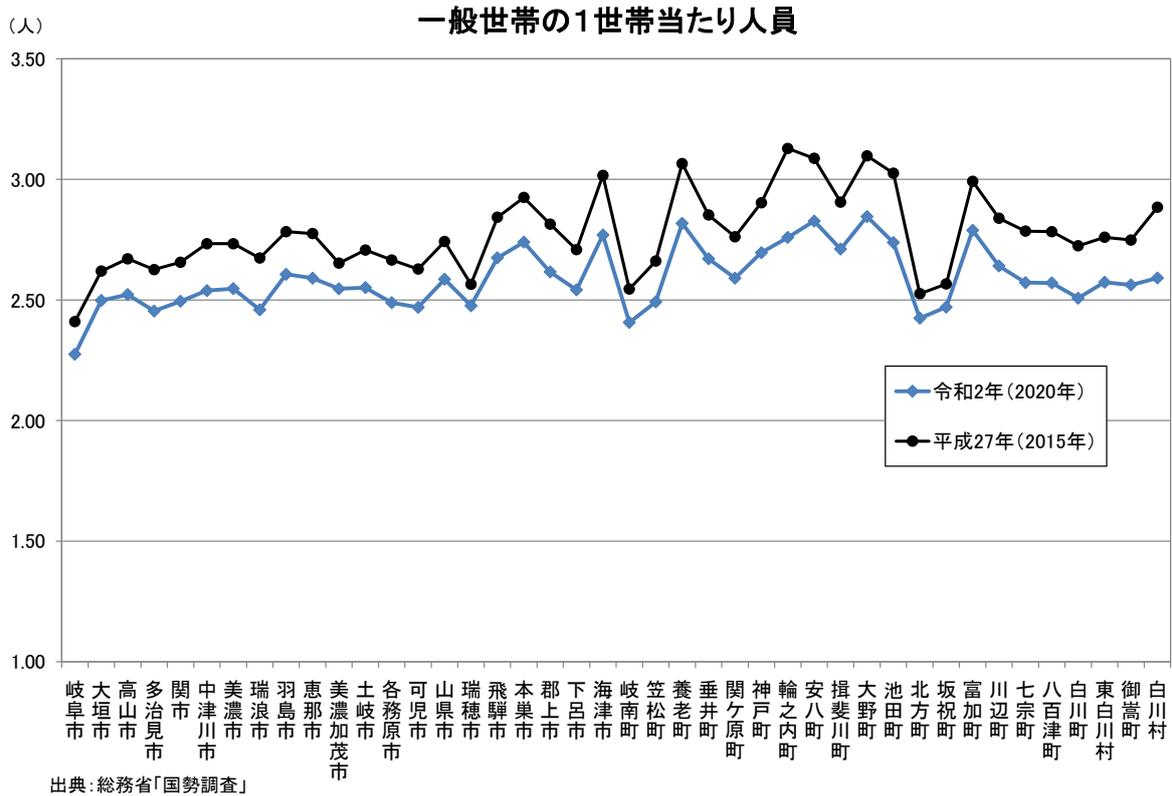
一般世帯数の減少が大きい市町村 令和2年(2020年)

順位	減少数		減少率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	下呂市	△442	七宗町	△5.0
2	飛騨市	△315	東白川村	△4.4
3	揖斐川町	△205	白川町	△4.4
4	白川町	△132	関ヶ原町	△4.4
5	山県市	△128	飛騨市	△3.7

○1世帯当たり人員は、すべての市町村で減少

平成27年では、一般世帯の1世帯当たり人員が3人を上回る地域は6市町であったが、令和2年では、すべての市町村で一般世帯の1世帯当たり人員が3人未満となった。

1世帯当たり人員が最も多いのは大野町の2.85人、最も少ないのは岐阜市の2.27人である。1世帯当たり人員は平成27年と比べ、すべての市町村で減少しており、小家族化が進行している。



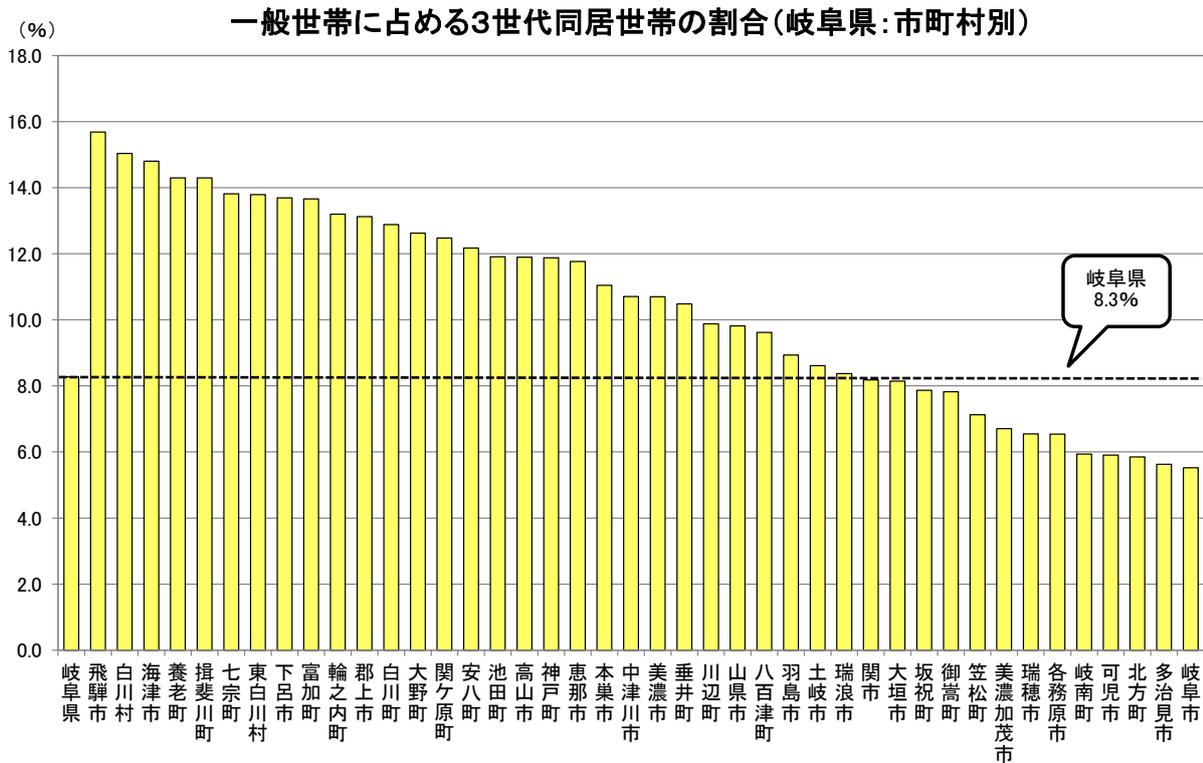
1世帯当たり人員 令和2年(2020年)

順位	多い順		少ない順	
	市町村名	人	市町村名	人
1	大野町	2.85	岐阜市	2.27
2	安八町	2.83	岐南町	2.41
3	養老町	2.82	北方町	2.42
4	富加町	2.79	多治見市	2.45
5	海津市	2.77	瑞浪市	2.46

(3) 家族類型別の世帯数

○3 世代世帯はすべての市町村で減少

一般世帯数を家族類型別にみると、3 世代世帯 6 万 4159 世帯は、平成 27 年から 1 万 9028 世帯減少し、すべての市町村で減少している。一般世帯に占める 3 世代世帯の割合は、飛騨市が 15.7%と最も高く、次いで白川村 15.0%、海津市 14.8%となり、最も低いのは、岐阜市が 5.5%、次いで多治見市が 5.6%、北方町が 5.8%となっており、岐阜市周辺や愛知県に近い県の南部では、3 世代世帯が少なくなっている。



3世代世帯割合 令和2年(2020年)

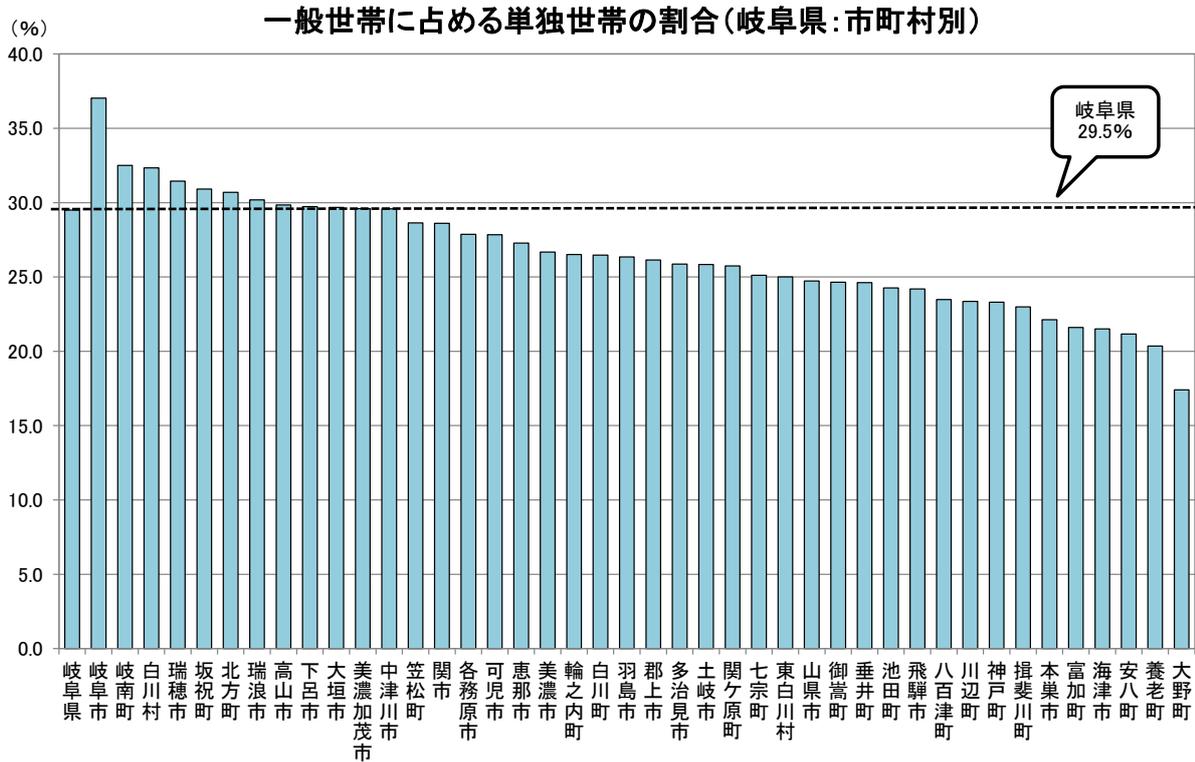
順位	割合が高い		割合が低い	
	市町村名	%	市町村名	%
1	飛騨市	15.7	岐阜市	5.5
2	白川村	15.0	多治見市	5.6
3	海津市	14.8	北方町	5.8
4	養老町	14.3	可児市	5.9
5	揖斐川町	14.3	岐南町	5.9

3世代世帯の減少が大きい市町村(平成27年-令和2年)

順位	減少数		減少率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	△3,189	御嵩町	△32.4
2	各務原市	△1,279	白川町	△31.6
3	大垣市	△1,052	八百津町	△30.1
4	高山市	△937	七宗町	△29.0
5	関市	△841	輪之内町	△28.5

○単独世帯（一人暮らし）はすべての市町村で増加

単独世帯 22 万 8715 世帯は平成 27 年から 3 万 4743 世帯増加しており、すべての市町村で増加している。一般世帯に占める単独世帯の割合は岐阜市が 37.0%と最も高く、次いで岐南町 32.5%、白川村 32.3%となっており、最も低いのは、大野町が 17.4%、次いで養老町 20.4%、安八町 21.2%となっている。



単独世帯割合 令和2年(2020年)

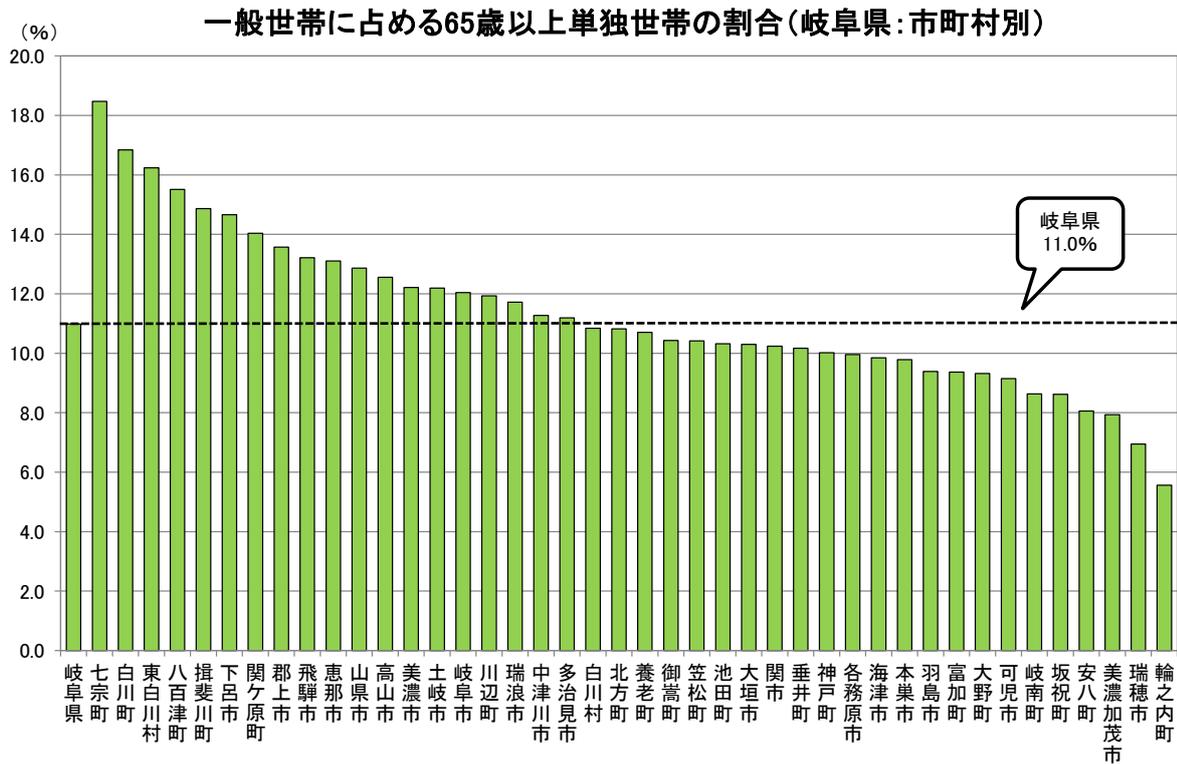
順位	割合が高い		割合が低い	
	市町村名	%	市町村名	%
1	岐阜市	37.0	大野町	17.4
2	岐南町	32.5	養老町	20.4
3	白川村	32.3	安八町	21.2
4	瑞穂市	31.5	海津市	21.5
5	坂祝町	30.9	富加町	21.6

単独世帯の増加が大きい市町村(平成27年-令和2年)

順位	増加数		増加率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	8,506	輪之内町	46.1
2	各務原市	3,384	安八町	40.1
3	可児市	2,516	池田町	39.5
4	大垣市	2,157	富加町	30.7
5	多治見市	2,006	可児市	29.3

○高齢単身世帯（65歳以上の一人暮らし）は41市町村で増加

高齢単身世帯8万5160世帯は、平成27年から1万2040世帯増加し、すべての市町村で増加している。一般世帯に占める高齢単身世帯の割合は七宗町が18.5%と最も高く、次いで白川町16.8%、東白川村16.2%となっており、最も低いのは、輪之内町が5.6%、次いで瑞穂市6.9%、美濃加茂市7.9%となっている。



出典:総務省「令和2年(2020年)国勢調査」

高齢単身世帯割合 令和2年(2020年)

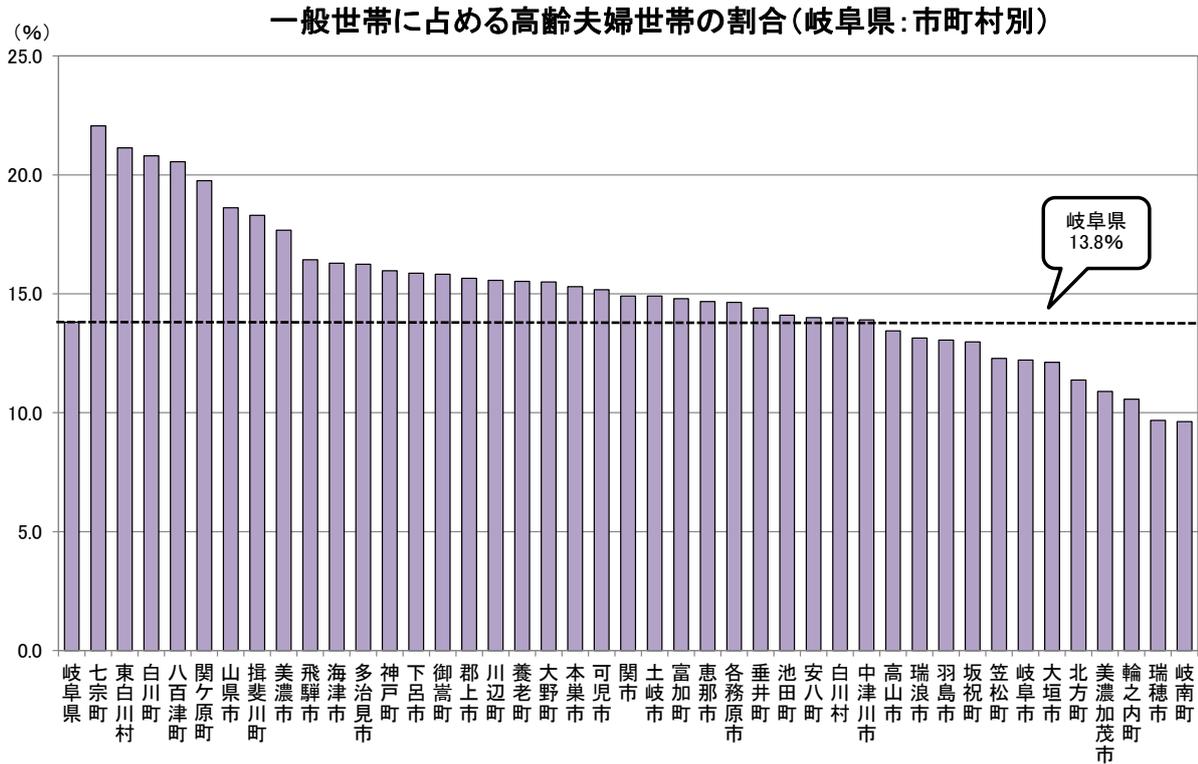
順位	割合が高い		割合が低い	
	市町村名	%	市町村名	%
1	七宗町	18.5	輪之内町	5.6
2	白川町	16.8	瑞穂市	6.9
3	東白川村	16.2	美濃加茂市	7.9
4	八百津町	15.5	安八町	8.1
5	揖斐川町	14.9	坂祝町	8.6

高齢単身世帯の増加が大きい市町村(平成27年-令和2年)

順位	増加数		増加率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	1,868	富加町	52.5
2	各務原市	1,291	池田町	42.6
3	大垣市	790	安八町	41.9
4	多治見市	779	岐南町	37.8
5	可児市	768	輪之内町	37.7

○高齢夫婦のみ世帯（夫65歳以上、妻60歳以上）は41市町村で増加

高齢夫婦のみ世帯10万7033世帯は、平成27年から9133世帯増加し、41市町村で増加している。一般世帯に占める高齢夫婦のみ世帯の割合は七宗町が22.1%と最も高く、次いで東白川村21.1%、白川町20.8%となっており、最も低いのは、岐南町が9.6%、次いで瑞穂市9.7%、輪之内町10.6%となっている。



高齢夫婦のみ世帯割合 令和2年(2020年)

順位	割合が高い		割合が低い	
	市町村名	%	市町村名	%
1	七宗町	22.1	岐南町	9.6
2	東白川村	21.1	瑞穂市	9.7
3	白川町	20.8	輪之内町	10.6
4	八百津町	20.6	美濃加茂市	10.9
5	関ヶ原町	19.8	北方町	11.4

※高齢夫婦のみ世帯・・・夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組だけの世帯。

高齢夫婦のみ世帯の増加が大きい市町村(平成27年-令和2年)

順位	増加数		増加率	
	市町村名	世帯	市町村名	%
1	岐阜市	1,052	輪之内町	42.1
2	各務原市	799	大野町	25.2
3	多治見市	721	坂祝町	25.1
4	可児市	658	養老町	24.1
5	関市	644	海津市	24.0

第4章 地域別の労働力状況

(1) 市町村別にみた労働力の状況

○労働力率は飛騨圏域で高い。

5圏域別に15歳以上人口に占める労働力人口の割合である労働力率をみると、飛騨圏域が64.9%と最も高く、西濃圏域が61.6%と最も低くなっている。飛騨圏域は15～64歳、65歳以上でも最も高くなっている。

市町村別に労働力率をみると、白川村が72.6%と最も高く、次いで岐南町68.1%、輪之内町67.3%となっている。最も低いのは、七宗町の56.4%で、次いで白川町57.5%、関ヶ原町57.6%となっている。県の労働力率の62.8%と比べると、16市町村が県を上回り、26市町で県を下回っている。

労働力率が高い順 令和2年(2020年)

順位	15歳以上		15～64歳		65歳以上	
	圏域	平均(%)	圏域	平均(%)	圏域	平均(%)
1	飛騨圏域	64.9	飛騨圏域	86.0	飛騨圏域	36.0
2	岐阜圏域	63.8	中濃圏域	83.1	中濃圏域	30.3
3	東濃圏域	62.2	東濃圏域	82.3	岐阜圏域	28.9
4	中濃圏域	62.1	西濃圏域	81.0	東濃圏域	27.9
5	西濃圏域	61.6	岐阜圏域	80.2	西濃圏域	27.8

	岐阜県	62.8	岐阜県	81.1	岐阜県	28.9
--	-----	------	-----	------	-----	------

労働力率が高い順 令和2年(2020年)

順位	15歳以上		15～64歳		65歳以上	
	市町村	平均(%)	市町村	平均(%)	市町村	平均(%)
1	白川村	72.6	白川村	88.1	白川村	47.4
2	岐南町	68.1	東白川村	86.9	高山市	36.5
3	輪之内町	67.3	飛騨市	85.5	東白川村	35.7
4	美濃加茂市	66.6	下呂市	85.2	海津市	34.4
5	瑞穂市	66.5	高山市	85.0	富加町	33.1

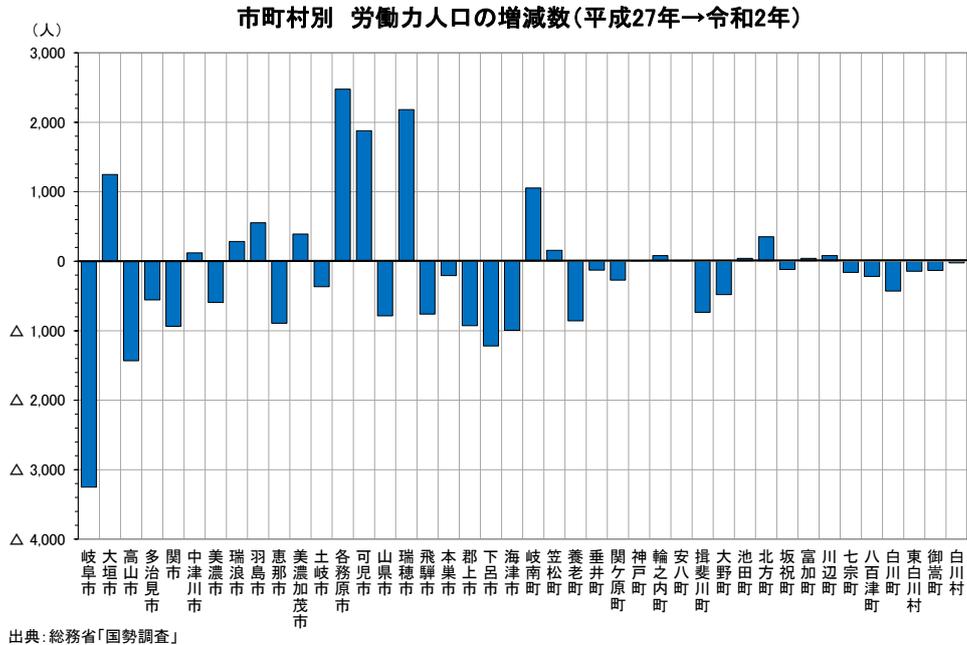
労働力率が低い順 令和2年(2020年)

順位	15歳以上		15～64歳		65歳以上	
	市町村	平均(%)	市町村	平均(%)	市町村	平均(%)
1	七宗町	56.4	本巣市	78.9	垂井町	23.1
2	白川町	57.5	瑞穂市	79.0	笠松町	24.4
3	関ヶ原町	57.6	笠松町	79.4	各務原市	25.0
4	八百津町	57.9	岐阜市	79.5	大垣市	25.1
5	揖斐川町	58.2	大野町	79.5	可児市	25.5

○労働力人口は、17 市町で増加、25 市町村で減少

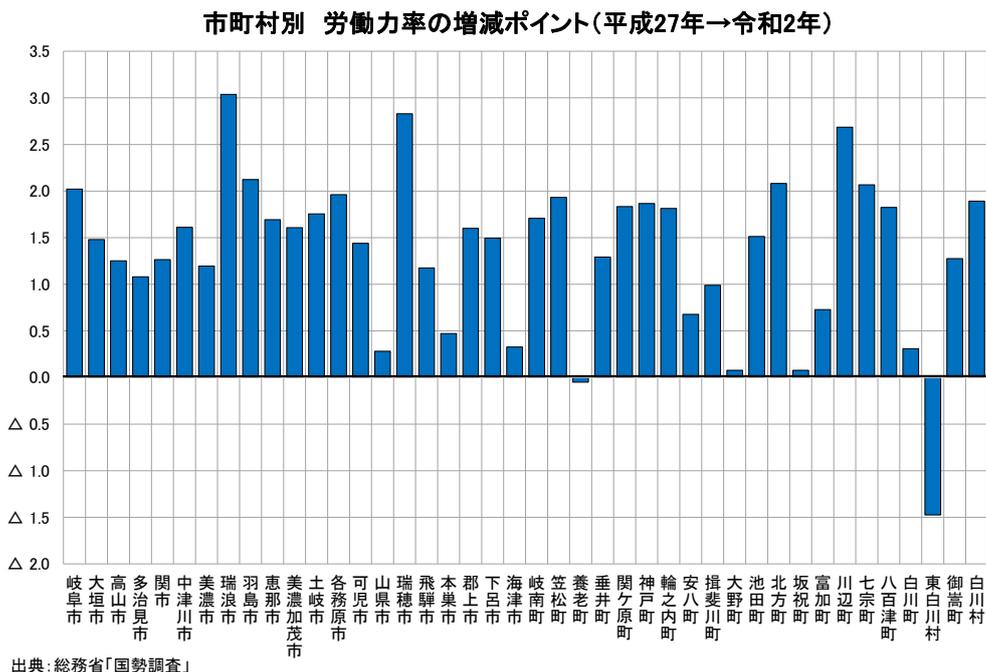
○労働力率は、40 市町村で上昇、2 市町村で低下

市町村別の労働力人口について、平成 27 年からの増減をみると、各務原市が 2476 人増、瑞穂市 2182 人増、可児市 1878 人増、大垣市 1248 人増、岐南町 1053 人増など 17 市町で増加。その他の 25 市町村では減少している。



○労働力率は 40 市町村で増加

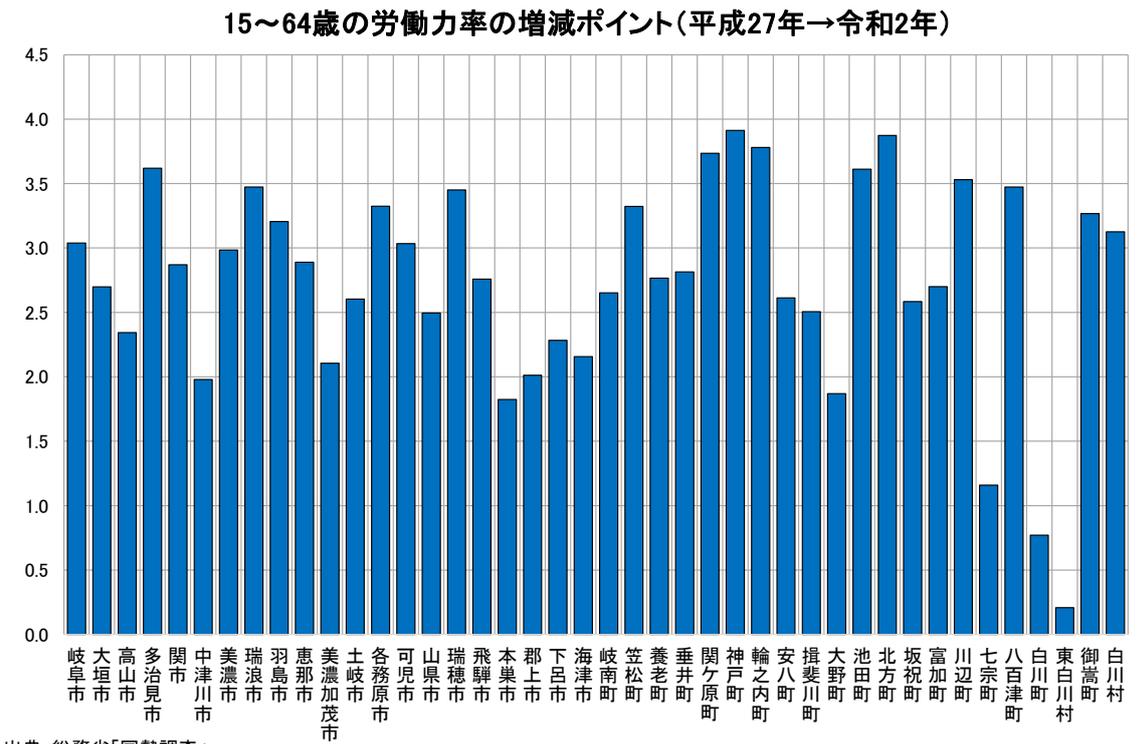
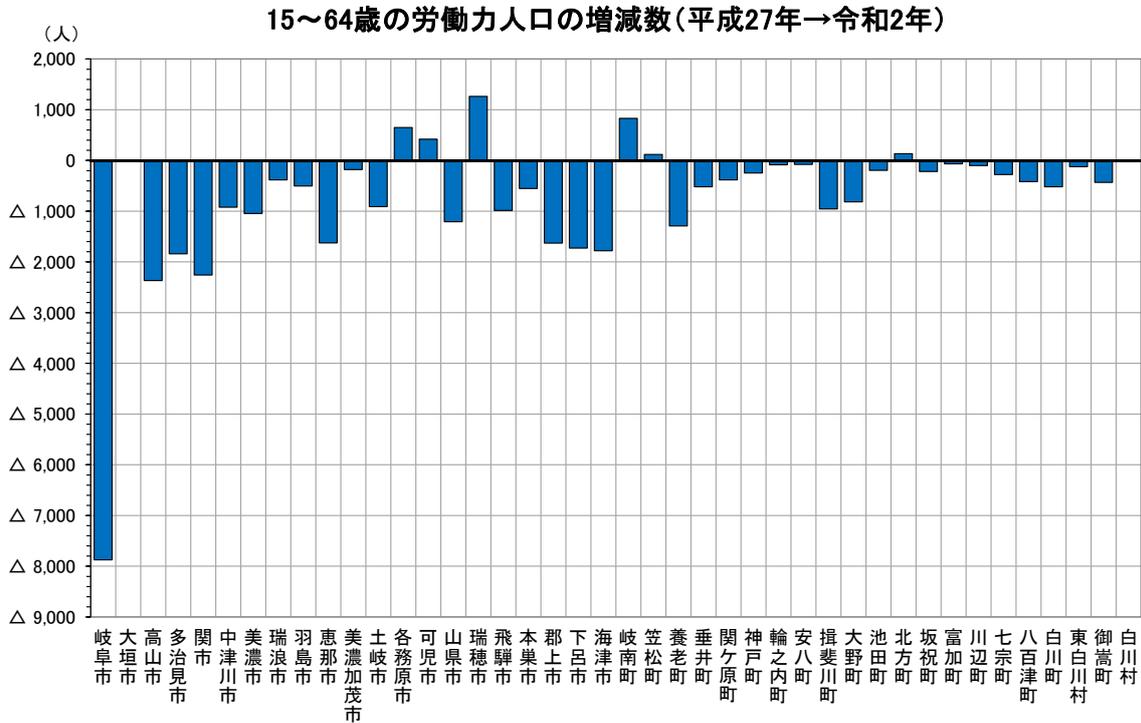
市町村別の労働力率について、平成 27 年からの増減をみると、瑞浪市が 3.0 ポイント上昇、瑞穂市 2.8 ポイント上昇など、40 市町村で上昇しており、2 町村では低下している。



○15～64歳の労働力人口は、6市町で増加、36市町村で減少

○15～64歳の労働力率は、すべての市町村で上昇

15～64歳の労働力人口について、平成27年からの増減をみると、6市町で増加、36市町村で減少している。一方、労働力率はすべて市町村で上昇しており、現役世代の人口減少が要因と考えられる。



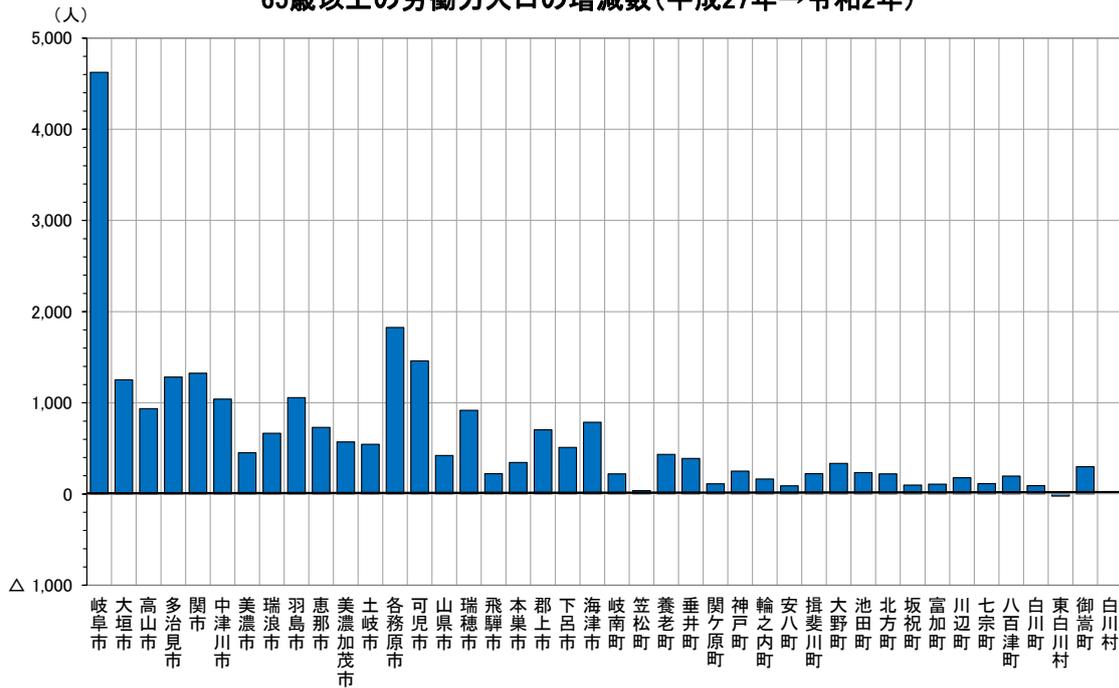
○65歳以上の労働力人口は40市町で増加、

1村で減少（東白川村）、1村で不変（白川村）

○65歳以上の労働力率は41市町村で上昇、1村で低下（東白川村）

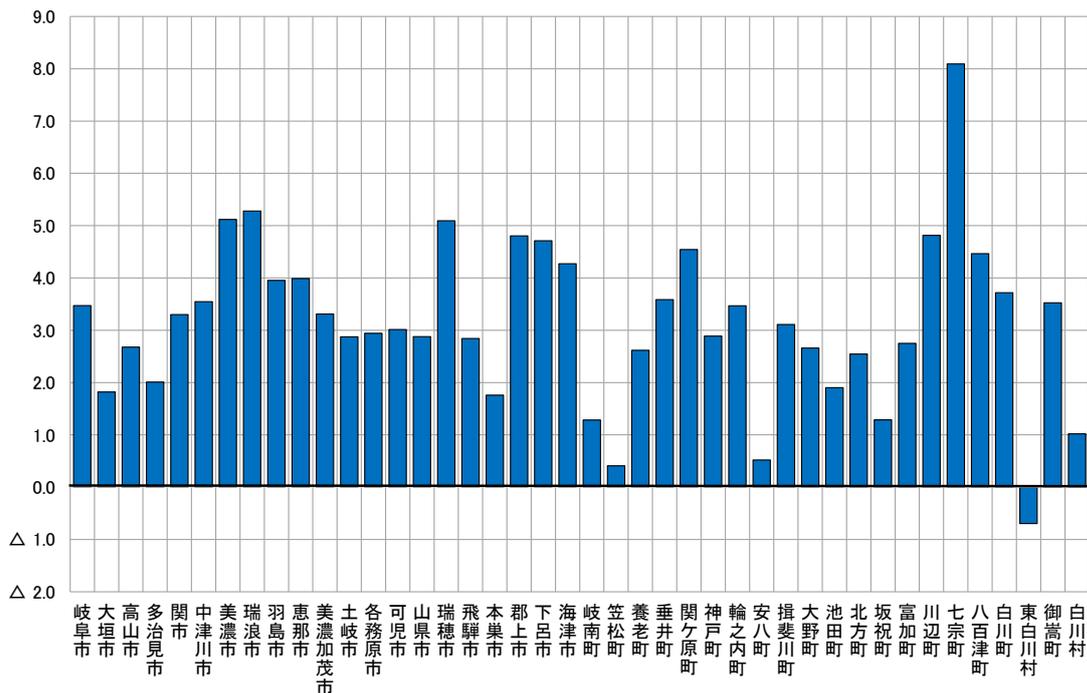
65歳以上の労働力人口について、平成27年からの増減をみると、岐阜市が4624人増、各務原市が1827人増、可児市が1459人増など、40市町で増加している。労働力率は、七宗町が8.1ポイント上昇、瑞浪市5.3ポイント上昇、美濃市5.1ポイント上昇など40市町村で上昇しているが、東白川村では低下している。

65歳以上の労働力人口の増減数(平成27年→令和2年)



出典:総務省「国勢調査」

65歳以上の労働力率の増減ポイント(平成27年→令和2年)



出典:総務省「国勢調査」